

～平成27年度主要施策～

第5次総合計画将来像

清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市

①災害に強くいざという時に安心できるまちづくり

生命と財産を守る災害に強いまちづくりを進め、地域と連携した防災体制の強化を図ります。

新規事業

小学校非構造部材耐震化工事

2,956万円

災害発生時に器具などの脱落やガラスの破損による児童生徒への被害を防ぐ工事を笠松小学校講堂と松枝小学校体育館に行い、住民の皆様には避難所施設として安全で便利に使用してもらえようにします。

防災行政無線管理事業

4,536万円

災害時に有力な情報伝達手段となる防災行政無線が聞き易く、クリアな音声放送となるよう屋外子局の更新と増設を2年かけて行います。

自主防災組織育成事業

89万円

各地域の自主防災会が防災資機材を整備する事業に対し、財政支援を行い地域の防災力向上を図ります。

平成27年度 3団体(順次拡大予定)

災害時要配慮者支援対策事業

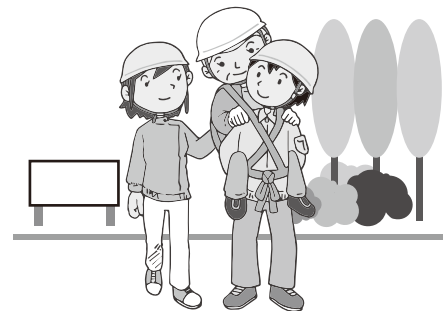
36万円

ひとり暮らしの高齢者や障がいを持つ方などに対する安否確認や避難行動を支援する対策を進めることにより、共助による防災体制を目指します。

排水路改良事業

3,131万円

ゲリラ豪雨などの水害対策として、平成24年より進めている笠松町流域関連公共下水道雨水計画を継続させ、雨水貯留施設の整備を進めます。



耐震診断・改修助成事業

641万円

昭和56年5月以前に着工、建設された木造住宅の耐震診断・改修工事の費用の一部を助成、その他建築物に対する耐震診断助成を行い、一般住宅などの耐震化を進めます。

防災備品管理事業

367万円

備蓄食糧の更新や拡充をし、計画的な防災備品の整備を進めます。また、AED(自動体外式除細動器)を更新し、万が一の緊急時に備えます。